

全国港湾労働組合連合会2025年度（第18期）中央執行委員名簿

役 職	氏 名	出身単組	
中央執行委員長	竹 内 一	日 港 労 連	(再任)
中央執行委員長代行	松 永 英 樹	全 港 湾	(再任)
中央執行副委員長	鈴 木 誠 一	全 港 湾	(再任)
同	徳 里 則 之	日 港 労 連	(新任)
同	石 橋 覚	検 数 労 連	(再任)
同	遠 藤 一 幸	検 定 労 連	(再任)
書 記 長	玉 田 雅 也	(専 従)	(再任)
書 記 次 長	高 島 弘 司	日 港 労 連 (専 従)	(再任)
中 央 執 行 委 員	鈴 木 龍 一	全 港 湾	(再任)
同	畠 山 昌 悦	全 港 湾	(再任)
同	橋 崎 正 伸	全 港 湾	(再任)
同	川 村 俊	全 港 湾	(再任)
同	二 本 柳 英 樹	全 港 湾	(再任)
同	西 脇 敬	全 港 湾	(再任)
同	法 本 健 吾	全 港 湾	(再任)
同	諸 見 力	全 港 湾	(再任)
同	山 田 敏 也	日 港 労 連	(再任)
同	中 山 好 孝	日 港 労 連	(再任)
同	吉 岡 幸 治	日 港 労 連	(再任)
同	稲 田 年 弘	日 港 労 連	(再任)
同	大 石 浩 二	日 港 労 連	(再任)
同	古 澤 隼 実	日 港 労 連	(再任)
同	堀 内 秀 紀	日 港 労 連	(新任)
同	山 田 拓	検 数 労 連	(再任)
同	高 木 正 一	検 数 労 連	(新任)
同	園 田 高 義	検 定 労 連	(再任)
同	中 辻 浩 二	全 倉 運	(再任)
同	河 本 愛 樹	全 倉 運	(新任)
同	佐 竹 義 昭	大 港 労 組	(再任)
同	赤 松 和 吉	大 港 労 組	(再任)
同	長 尾 誠 一	全 日 通	(再任)
同	桃 田 匠	全 日 通	(新任)
会 計 監 査	大 庭 達 也	大 港 労 組	(再任)
同	神 保 大 輔	検 数 労 連	(新任)
顧 問	柏 木 公 廣	元全国港湾執行委員長	(再任)
同	真 島 勝 重	前全国港湾執行委員長	(再任)

「港湾を兵站基地にするな！」 「港湾労働者を戦争を考える」 「杖るは信に如くは莫し」 (村山総理大臣談話) と全国港湾の取り組み

「杖るは信に如くは莫し（よるはしんにしくはなし）」、抛り所とするものとして、信義に勝るものはないという意味だそうです。この言葉は、古く中国の歴史書（春秋左氏伝）と、りわけ孔子による編纂項の一節といわれています。

これは、1985年8月15日に発表された村山富市総理大臣(当時)の談話「戦後50周年の終戦記念日にあたって」(所謂：村山談話)の結びの言葉として用いられたのは有名な話であります。つまり、信義を施政の根幹とすることを国内外に表明する「平和」の誓いの言葉として引用したといわれています。

この村山談話における中味の文面では、これまで国内で一般的に用いられてきた「終戦」ではなく「敗戦」という言葉を統一用語として引用すると共に、「深い反省に立ち、独善的なナシヨナリズムを排し」との一節を踏まえ、近隣アジア諸国「アジア太平洋近隣諸国」ひいては世界の平和に向けた誓いの言葉として歴史的な談話であります。

一方で、この村山談話につきましては、様々な賛否両論が存在することですが、私は私見として世界平和に向けた代表的且つ歴史的談話であると考えています。

くしくも、村山元総理が10月17日に100歳でお亡くなりになり、かたや10月21日には新しい自民・維新連立政権が誕生するといったこのタイミングについて皆様はどのように感じられますか？先人たちが取り組んできた「世界平和」の取り組みについて、決して忘れてはならないと同時に、

今我々がそれを継承し更なる発展を期さねばなりません。

そして、いま全国港湾は先の大会特別決議に基づき、「陸・海・空・港湾20労組」の取り組みのなかで、玉田書記長、高島書記次長を軸として様々な具体的取り組みの企画立案に向け奮闘中であります。

つきましては、全国港湾として様々な取り組みについて各機関会議をおして具体的提起がなされますので、どうか全国港湾に結集する仲間の皆様の更なる「団結の力」で、戦争断固反対！「港湾を兵站基地にするな！」の合言葉のもと、引き続き共に産別運動を進めていきましょう！

(全国港湾委員長・竹内 二)

リレー随筆 「スリーレターコード」

お久しぶりです。教宣部員の古澤です。寒暖差の激しい季節になりましたが、体調のほうは如何でしょうか。

今回の随筆は「空から空への手紙」をテーマに書きたいと思います。



家族旅行や、プライベートでの旅行、あるいは出張などで「飛行機」を利用する機会が、きつとあると思います。その時に航空券や預け入れ手荷物のタグに三文字のローマ字が刻印されているのを、覚えていてでしょうか。特に預け入れした荷物のタグに目立つように書いてありますが、到着地の空港の略称が書かれています。羽田空港なら「HND」、成田空港は「NRT」、関西空港は「KIX」といった具合に、各空港にアルファベットが充てられています。これを「スリーレターコード」と言います。

このスリーレターコードは航空会社関係に限らず、例えば最近よく目にするようになった、JRや私鉄等での駅コード。オリンピックなどのスポーツの国際大会で用いられる「IOC」



こくみん共済COOP

ぜひ今度機会がありましたら、空港の電光掲示板に表示される「3文字」を眺めて、外国の空港や、国内の空港の略称を見てもみるのも面白いかもしれません。

「ドックランズ」

ご報告遅くなりましたが、今年5月に帰国した上村です。帰国後も有難いことに記事を書いて欲しいという話をいただきました。タイトルを「炉辺談話」と改め、読者の方に親しみを感じてもらえるような連載を目指します。



学は無料です。入ってすぐ目の前に現れたのは、昔の秤と台秤です。元検定出身の私

～ 炉辺談話 ～



私が入社した当時、主流は既にデジタル秤の時代で手秤を使う機会は滅多にありませんでした。運悪くデジタル秤がない現場で、40FTに入ったBAG貨物を手秤で個力ンしてくれと急遽依頼された苦い記憶を思い出しました。

次に現れたのはノンコ（手鉤）です。私は職種柄、扱う機会はなかったものの、現場で個力ン作業をしていた際、キラウ時は手を出すと教わり

は、ロンドンでも日本と同じ仕事道具が使われていたことを知り感動しました。分銅も展示されて

は、ロンドンでも日本と同じ仕事道具が使われていたことを知り感動しました。分銅も展示されて



当時の記憶に想い耽っていると、入口だけで30分程経っていました。次号はロンドン港の歴史にふれていきます。